

○圏央道の交通量は開通前に比べ、約3割増加

- ・ 圏央道(つくば JCT～つくば牛久 IC)の交通量は、開通前が 7,641 台/日、開通3ヶ月後 9,664 台/日、開通1年後 9,926 台/日となっており、開通前と比べ約3割増加しています。
- ・ つくば牛久 IC～牛久阿見 IC 間の交通量は開通3ヶ月後の 4,548 台/日から開通1年後の 5,148 台/日、牛久阿見 IC～阿見東 IC 間の交通量は開通3ヶ月後の 2,426 台/日から開通1年後の 2,660 台/日と、いずれも約1割増加しています。
- ・ これらのことから、圏央道の利用が定着していると見られます。

※調査日

開通前：平成 18 年 11 月 21 日(火)

開通3ヶ月後：平成 19 年 6 月 14 日(木)

開通1年後：平成 20 年 2 月 27 日(水)

■圏央道および周辺道路の位置



■圏央道の利用台数の推移

